

2018年3月期 決算説明会



株式会社SUBARU

取締役専務執行役員CFO 岡田 稔明
2018年5月11日

2018年3月期 決算サマリー



2018年3月期 実績

- 連結販売台数、連結売上高は6期連続で過去最高*1を記録。北米販売台数は9期連続で過去最高*1を更新。
- 為替変動の増益影響があったものの、米国の金利上昇に伴う販売費の増加、原材料市況等の影響、試験研究費の増加などにより、営業利益は減益。
- エアバッグ関連損失引当金として813億円の特別損失を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は減益。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 当期純利益	連結販売台数
実績 (対前年実績)	3兆4,052億円 (+792億円)	3,794億円 (-314億円)	3,799億円 (-144億円)	2,204億円 (-620億円)	1,066.9千台 (+2.4千台)

2019年3月期 計画

- 連結販売台数は、引き続き北米市場を中心に伸長。過去最高*1の自動車売上台数を計画。
- 連結売上高は、販売台数の増加を計画するものの、為替変動の影響や会計方針の変更による影響などを反映し減収。
- 為替変動による減益影響、米国の金利上昇に伴う販売費の増加、原材料市況等の影響などにより、営業利益は減益。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 当期純利益	連結販売台数
計画 (対前年実績)	3兆2,500億円 (-1,552億円)	3,000億円 (-794億円)	3,050億円 (-749億円)	2,200億円 (-4億円)	1,100.4千台 (+33.5千台)

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

*1: 通期連結決算の開示を始めた1986年3月期以降の過去最高

1



2018年3月期 実績

通期実績 連結完成車販売台数



(千台)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	増減
登録車	126.4	132.6	+6.2
軽自動車	32.5	30.9	-1.7
国内合計	158.9	163.4	+4.5
米国	667.6	670.9	+3.3
カナダ	53.1	56.8	+3.8
ロシア	5.3	7.7	+2.4
欧州	40.9	40.2	-0.7
豪州	49.1	55.7	+6.6
中国	44.0	26.9	-17.1
その他	45.6	45.2	-0.3
海外合計	905.6	903.5	-2.1
合計	1,064.5	1,066.9	+2.4

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

※ 中国：2017年3月期：暦年決算1～12月、2018年3月期：年度決算4～3月

3

まず初めに、2018年3月期 通期実績について、ご報告致します。

連結販売台数は、過去最高となる、106万6千9百台となり、前年同期比で2千4百台の増加となりました。

国内では、

軽自動車の販売が前期を下回ったものの、登録車では全面改良を行った

「SUBARU XV」を中心に販売が好調に推移し、

前年同期比で6千2百台の増加となる 13万2千6百台となりました。

国内合計では、前年同期比で4千5百台の増加となる、16万3千4百台となりました。

海外では、

当社の重点市場であります北米において9期連続、また豪州市場でも6年連続過去最高を更新し、好調を維持しました。

一方、競争環境が厳しい中国の売上台数が減少したことにより、前年同期比で2千1百台の減少となる90万3千5百台となりました。

通期実績 連結業績



(億円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	増減
売上高	33,260	34,052	+792
国内	6,503	6,686	+182
海外	26,756	27,367	+610
営業利益	4,108	3,794	-314
営業外損益	-165	5	+170
経常利益	3,943	3,799	-144
特別損益	4	-826	-830
税前利益	3,947	2,973	-974
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,824	2,204	-620
単独為替レート	¥108/US\$	¥111/US\$	+¥3/US\$

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

4

次に、連結業績です。

連結売上高は、為替レート差+649億円、売上構成差の改善+204億円、カンパニー等-61億円により、前年同期比792億円の増収となる3兆4千52億円となりました。

営業利益につきましては、

為替変動による増益影響があったものの、

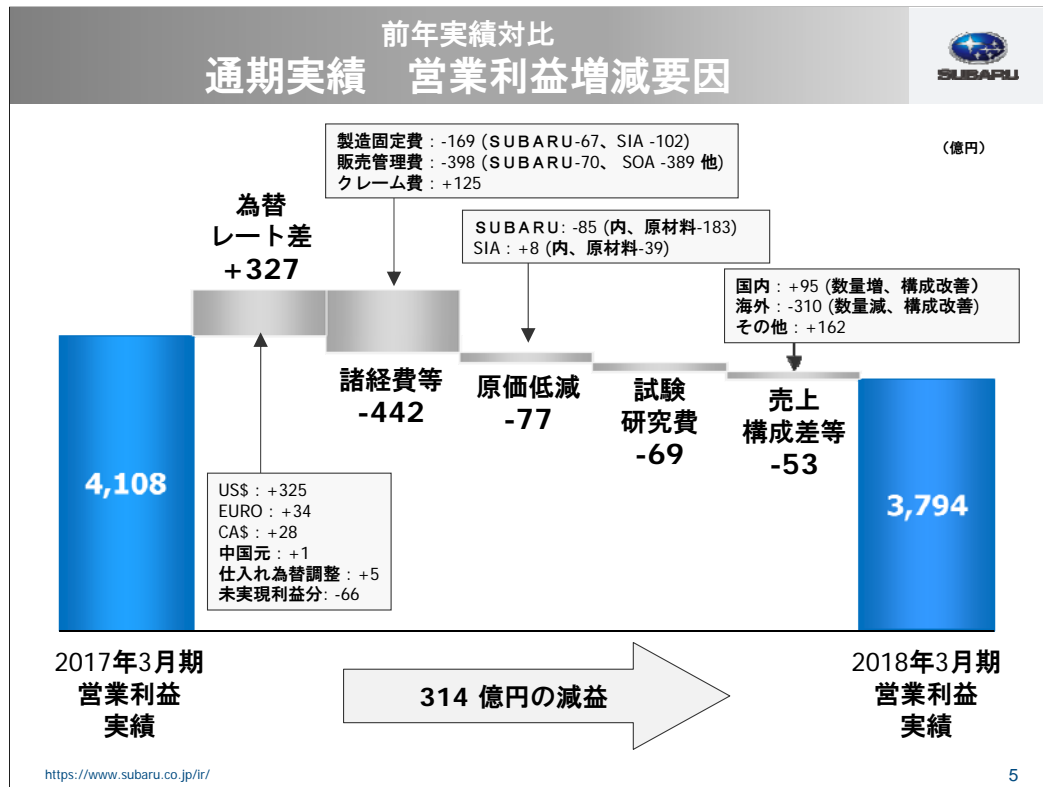
米国の金利上昇に伴う販売費の増加、原材料市況の影響および試験研究費の増加などにより、前年同期比 314億円の減益となる 3,794億円、

経常利益は、144億円の減益の3,799億円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、

エアバッグ関連損失として813億円の特別損失を計上したことなどにより、

前年同期比620億円の減益となる2,204億円となりました。



続きまして、営業利益増減要因についてです。

初めに、増益要因として、

<1>為替レート差で+327億円です。

米ドルは約3円の円安で、+325億円。ユーロは約11円の円安で+34億円、カナダドルは約4円の円安で+28億円。その他、中国元で+1億円、SUBARUと海外子会社の仕入れ為替調整で+5億円、在庫未実現利益分として-66億円となりました。

次に、減益要因として、4点説明します。

<1>諸経費等の増加で-442億円です。要因は次の3つです。

①製造固定費の増加により-169億円です。そのうち、

SUBARUは、外製型費の増により-43億円、固定加工費の増により-24億円で、-67億円。

SIAは、外製型費の増により-54億円、固定加工費の増により-48億円で、-102億円となりました。

②販売管理費の増加で-398億円です。

SUBARUで-70億円、国内ディーラーは-19億円、SOAは-389億円、カナダ子会社は±0、その他で+80億円です。

SOAについては、広告宣伝費等で+12億円。インセンティブは、-401億円となりました。

台あたりインセンティブは、前年同期の\$1,450から\$2,000と、\$550増えました。

③クレーム費の減で+125億円です。

<2>原価低減は-77億円です。そのうち、

SUBARUでは、原価低減により+98億円、原材料等により-183億円で、-85億円。

SIAでは、原価低減により+47億円、原材料等により-39億円で、+8億円となりました。

<3>試験研究費の増加で-69億円です。

<4>売上構成差等で-53億円です。要因は次の3つです。

①新車国内は+95億円。②新車海外は-310億円。③在庫調整等その他で+162億円です。

以上で、2018年3月期の通期営業利益は、前年実績4,108億円から314億円の減益となる3,794億円となりました。

通期実績 連結貸借対照表



(億円)

	2017年3月末	2018年3月末	増減
総資産	27,623	28,843	+1,220
流動資産	18,453	18,952	+500
固定資産	9,171	9,891	+720
負債合計	12,974	13,233	+259
有利子負債	1,483	862	-621
純資産合計	14,649	15,610	+961
利益剰余金	11,733	12,835	+1,103
自己資本	14,587	15,528	+942
自己資本比率	52.8%	53.8%	-
D/Eレシオ	0.10	0.06	-

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

6

続きまして、バランスシートです。

総資産は、2兆8,843億円と前年同期比1,220億円の増加となりました。

主な要因は、有形固定資産の増加458億円、
現金及び預金と有価証券を合わせた手許資金の増加286億円、
繰延税金資産の増加265億円などです。

負債は、1兆3,233億円と前年同期比259億円の増加となりました。

主な要因は、エアバッグ関連損失引当金の増加647億円、
未払費用の増加346億円、
1年内返済予定を含めた長期借入金および短期借入金の減少621億円などです。

純資産は、1兆5,610億円と前年同期比961億円の増加となりました。

主な要因は、利益剰余金の増加1,103億円などです。

自己資本比率は53.8%です。

通期実績 連結キャッシュフロー



(億円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	増減
営業活動CF	3,454	3,663	+209
投資活動CF	-2,543	-1,507	+1,035
フリーCF	912	2,156	+1,244
財務活動CF	-1,890	-1,709	+181
換算差額	-30	-108	-78
現金及び現金同等物の増減	-1,008	338	+1,347
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	-	-5	-5
連結子会社の決算期変更による 現金及び現金同等物の増減額	-	37	+37
現金及び現金同等物 合計	7,286	7,656	+370

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

7

次は、連結キャッシュフローです。

営業活動による資金の増加は3,663億円となりました。

主な要因は、税金等調整前当期純利益の計上2,973億円、エアバッグ関連損失引当金の計上647億円などです。

投資活動による資金の減少は1,507億円となりました。

主な要因は、固定資産の取得による支出1,465億円などです。

その結果、フリーキャッシュフローは2,156億円となりました。

財務活動による資金の減少は1,709億円となりました。

主な要因は、配当金の支払1,103億円、長期借入金の返済による支出409億円、短期借入金の減少184億円などです。

また、現金及び現金同等物は、7,656億円となりました。

通期実績 海外子会社業績



(Million US\$)

SOA	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	増減
売上高	17,947	18,402	+455
営業利益	671	356	-315
当期純利益	421	235	-186
小売販売台数(千台)	625.0	651.9	+26.9

SIA	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	増減
売上高	7,525	7,673	+148
営業利益	236	176	-60
当期純利益	148	134	-14
生産台数(千台)	335.2	348.6	+13.4

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

8

米国子会社の業績です。

SOAの通期小売販売は、インプレッサ、クロストレックの販売好調により、前年に対し2万6千9百台増の65万1千9百台となりました。

売上高は前年同期比+\$455Mの\$18,402Mとなりました。

営業損益につきましては、数量・構成差+\$43M、販管費の増-\$358Mにより、前年同期比\$315Mの減益の\$356Mとなりました。

SIAの売上高は、前年に対し+\$148Mの\$7,673Mとなりました。

営業損益は、数量価格構成差+\$26M、原価低減及び市況+\$7M、固定費増-\$93Mにより、前年同期比-\$60Mとなる\$176Mとなりました。

通期実績 設備投資・減価償却費・試験研究費・有利子負債					
(億円)					
	2017年3月期 実績 (a)	2018年3月期 前回計画 (b)	2018年3月期 実績 (c)	増減 (c) - (a)	増減 (c) - (b)
設備投資	1,585	1,500	1,414	-171	-86
減価償却費	770	920	898	+128	-22
試験研究費	1,142	1,260	1,211	+69	-49
有利子負債	1,483	950	862	-621	-88

<https://www.subaru.co.jp/ir/> 9

続きまして、設備投資、減価償却費、試験研究費、有利子負債の実績です。

設備投資は、前年同期比171億円の減となる1,414億円。

減価償却費は、128億円の増となる898億円。

試験研究費は、69億円増となる1,211億円となりました。

有利子負債につきましては、621億円減の862億円となりました。



2019年3月期 見通し

通期計画 連結完成車販売台数



(千台)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	増減
登録車	132.6	122.7	-9.9
軽自動車	30.9	28.1	-2.8
国内合計	163.4	150.8	-12.7
米国	670.9	707.0	+36.0
カナダ	56.8	61.4	+4.6
ロシア	7.7	11.5	+3.8
欧州	40.2	32.5	-7.7
豪州	55.7	55.5	-0.2
中国	26.9	29.9	+3.0
その他	45.2	51.9	+6.6
海外合計	903.5	949.7	+46.2
合計	1,066.9	1,100.4	+33.5

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

11

続きまして、2019年3月期 通期計画です。

連結販売台数につきましては、国内海外合計で110万4百台を計画しています。
前年同期比で3万3千5百台の増となります。

市場別では、
国内は、前年同期比1万2千7百台の減となる15万8百台。

海外は、
新規導入となるアセント、そしてフルモデルチェンジ後のフォレスターによる増加を見込み、
前年同期比4万6千2百台の増となる94万9千7百台を計画します。

通期計画 連結業績



(億円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	増減
売上高	34,052	32,500	-1,552
国内	6,686	6,086	-600
海外	27,367	26,415	-952
営業利益	3,794	3,000	-794
経常利益	3,799	3,050	-749
税前利益	2,973	2,987	+14
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,204	2,200	-4
単独為替レート	¥111/US\$	¥105/US\$	-¥6/US\$

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

※ 2019年3月期から会計方針変更（売上高から販売奨励金を控除）

12

次に、連結業績計画です。

売上高は、前年同期比1,552億円の減少となる、3兆2千500億円を見込みます。

-1,552億円の内訳は、為替レート差-1,220億円、カンパニー等-211億円、売上構成差等-121億円等です。

なお、2019年3月期より会計方針を変更します。

従来販管費で計上していた販売奨励金を、売上高から控除する処理へ変更いたします。

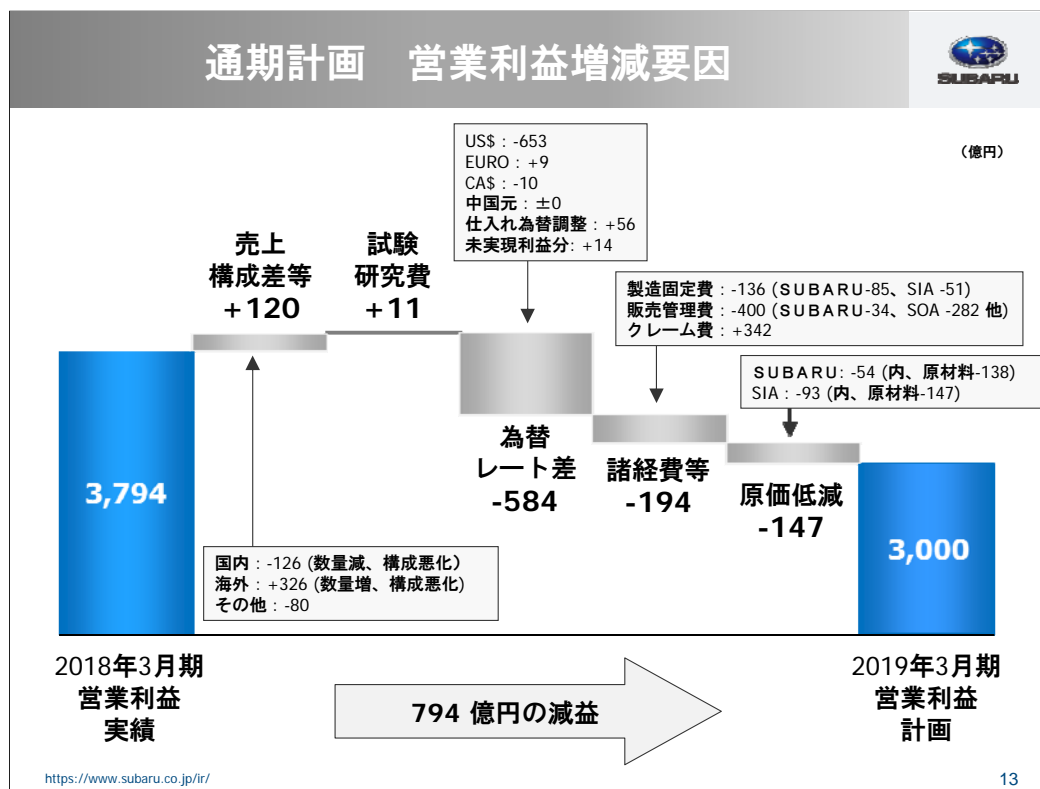
その影響は、約1800億と見込んでおり、

従って、昨年度同様の基準で見ると、今期計画は34,300億となります。

営業利益につきましては、前年同期比794億円の減益となる3,000億円。

経常利益は前年同期比749億円の減益で、3,050億円。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比4億円減益となる2,200億円を見込みます。



続きまして、営業利益増減要因についてです。

まず、増益要因として、2点説明します。

<1>1つ目は、売上構成差等で+120億円です。

要因は次の3つです。

①新車国内は-126億円。②新車海外は+326億円。③在庫調整等その他で-80億円です。

<2>2つ目は、試験研究費の減少で+11億円です。

次に、減益要因です。主な要因として、3つあります。

<1>為替レート差で-584億円です。

米ドルは約6円の円高を見込み、-653億円。

ユーロは若干の円安で+9億円、カナダドルは約2円の円高で-10億円。

その他、SUBARUと海外子会社の仕入れ為替調整で+56億円、在庫未実現利益分として+14億円を計画しています。

<2>諸経費等の増加で-194億円です。要因は次の3つです。

①製造固定費の増加により-136億円です。そのうち、

SUBARUは、外製型費の増により-76億円、固定加工費の増により-9億円で、-85億円。

SIAは、外製型費の増により-55億円、固定加工費の減により+4億円で、-51億円を見込みます。

②販売管理費の増加で-400億円です。

SUBARUで-34億円、国内ディーラーは-2億円、SOAは-282億円、カナダ子会社は-15億円、その他で-67億円です。

SOAにつきましては、広告宣伝費等で-97億円、インセンティブで-185億円です。

台当たりインセンティブは、前年同期の\$2,000から、当年度は\$2,200と、\$200増える計画としております。

③クレーム費の減で+342億円です。

<3>原価低減で-147億円です。そのうち、

SUBARUでは、原価低減+84億円、原材料・市況等-138億円で、-54億円。

SIAでは、原価低減+54億円、原材料等-147億円で、-93億円を見込みます。

以上で、2019年3月期の通期営業利益は、前年実績3,794億円から794億円の減益となる3,000億円を計画しています。

通期計画 海外子会社業績



(Million US\$)

SOA	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	増減
売上高	18,402	19,678	+1,276
営業利益	356	273	-83
当期純利益	235	227	-8
小売販売台数(千台)	651.9	700.0	+48.1

SIA	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	増減
売上高	7,673	9,157	+1,484
営業利益	176	128	-48
当期純利益	134	103	-31
生産台数(千台)	348.6	384.0	+35.4

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

14

米国子会社の業績計画です。

SOAの通期小売販売は、好調の続くクロストレックの拡販、新型車アセントの導入により、前年に対し4万8千1百台増の70万台を目指します。

売上高は前年同期比+\$1,276Mの\$19,678Mを見込みます。

営業損益につきましては、数量・構成差+\$175M、販管費の増-\$258Mにより、前年同期比\$83Mの減益となる\$273Mを計画しています。

SIAの売上高は、前年に対し+\$1,484Mの\$9,157Mを見込みます。

営業損益は、数量価格構成差+\$96M、原価低減及び市況-\$51M、固定費増-\$93Mにより、前年同期比-\$48Mとなる\$128Mを見込みます。

通期計画
設備投資・減価償却費・試験研究費・有利子負債



(億円)

	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期計画	増減
設備投資	1,414	1,300	-114
減価償却費	898	930	+32
試験研究費	1,211	1,200	-11
有利子負債	862	800	-62

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

15

最後に、設備投資、減価償却費、試験研究費、有利子負債の通期計画です。

2019年3月期の設備投資は114億円の減となる1,300億円を計画しています。

減価償却費は、32億円の増となる930億円、

試験研究費は11億円の減となる1,200億円を計画しています。

有利子負債につきましては、800億円を計画しています。

次ページ以降は、セグメント情報や、今期上期業績計画の詳細、各種指標など、ご参考となります。

以上で、2018年3月期決算の説明を終わります。

ありがとうございました。

ご参考(1)

- 連結営業外収支 / 特別損益
- セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- 海外売上高
- 単独販売台数
- 第4四半期(3ヶ月)業績
- 通期実績 計画との差
- 通期計画 第2四半期累計計画

通期実績 連結営業外収支／特別損益



(億円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	増減
金融収支	28	68	+40
為替影響	-90	-51	+39
その他	-102	-12	+90
営業外収支	-165	5	+170
固定資産売却益	9	6	-3
投資有価証券売却益	101	46	-55
固定資産除売却損	-42	-54	-12
事業終了損失	-51	-	+51
エアバッグ関連損失	-	-813	-813
減損損失	-12	0	+12
その他	-2	-11	-9
特別損益合計	4	-826	-830

<https://www.subaru.co.jp/>

17

通期実績 事業セグメント別業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 実績	増減	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 実績	増減
自動車	31,520	32,349	+829	3,977	3,615	-362
航空宇宙	1,388	1,422	+34	91	123	+32
その他	353	282	-71	35	51	+16
消去・全社	/	/	/	5	7	+1
合計	33,260	34,052	+792	4,108	3,794	-314

※ 2017年3月期第3四半期より報告セグメントの区分を変更、従来の「産業機器」は「その他」へ集約

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

18

通期実績 所在地別セグメント業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 実績	増減	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 実績	増減
日本	9,705	10,118	+413	2,945	2,950	+5
北米	20,947	21,928	+981	1,059	694	-365
その他	2,608	2,006	-602	87	72	-16
消去・全社				16	79	+63
合計	33,260	34,052	+792	4,108	3,794	-314

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

19

通期実績 連結海外売上高



(億円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	増減
北米	21,923	23,058	+1,135
欧州	1,126	1,191	+65
アジア	2,113	1,406	-707
その他	1,595	1,712	+117
合計	26,756	27,367	+610

通期実績 単独販売台数



(千台)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	増減
国内生産	720.5	701.2	-19.4
国内売上	163.7	168.9	+5.2
登録車	129.6	137.2	+7.6
軽自動車	34.1	31.7	-2.4
輸出台数	570.7	556.5	-14.3
海外生産用部品	353.8	348.1	-5.6
単独売上合計	1,088.2	1,073.5	-14.7

※ 生産台数にはトヨタ向け86/FR-Sの台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

21

第4四半期（3ヶ月） 連結完成車販売台数



(千台)

	2017年3月期 4Q 実績	2018年3月期 4Q 実績	増減
登録車	43.3	34.9	-8.4
軽自動車	10.2	9.7	-0.4
国内合計	53.4	44.6	-8.8
米国	166.3	161.9	-4.4
カナダ	12.6	12.3	-0.3
ロシア	1.3	2.1	+0.8
欧州	11.2	11.7	+0.6
豪州	11.2	13.6	+2.5
中国	12.0	5.4	-6.7
その他	10.8	13.4	+2.6
海外合計	225.3	220.4	-4.9
合計	278.7	265.0	-13.7

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

※ 中国：2017年3月期：暦年決算10～12月、2018年3月期：年度決算1～3月

22

第4四半期(3ヶ月) 連結業績



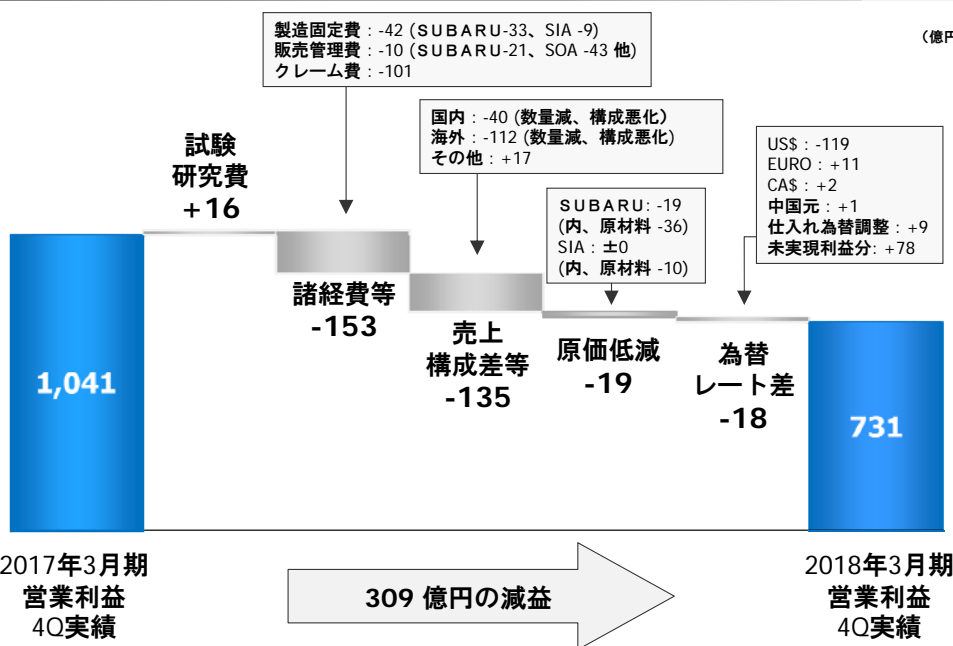
(億円)

	2017年3月期 4Q 実績	2018年3月期 4Q 実績	増減
売上高	8,981	8,406	-575
国内	2,054	1,840	-214
海外	6,927	6,565	-361
営業利益	1,041	731	-309
経常利益	971	768	-203
税前利益	959	797	-162
親会社株主に帰属する 当期純利益	748	675	-73
単独為替レート	¥114/US\$	¥110/US\$	-¥4/US\$

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

23

第4四半期（3ヶ月） 営業利益増減要因



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

通期実績 連結完成車販売台数
 前回計画 vs. 実績



(千台)

	2018年3月期 前回計画	2018年3月期 実績	増減
登録車	134.5	132.6	-2.0
軽自動車	30.6	30.9	+0.3
国内合計	165.2	163.4	-1.7
米国	671.3	670.9	-0.4
カナダ	57.0	56.8	-0.2
ロシア	7.7	7.7	+0.1
欧州	39.1	40.2	+1.1
豪州	55.9	55.7	-0.2
中国	26.3	26.9	+0.6
その他	44.7	45.2	+0.6
海外合計	901.9	903.5	+1.6
合計	1,067.1	1,066.9	-0.1

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

25

通期実績 連結業績
前回計画 vs. 実績



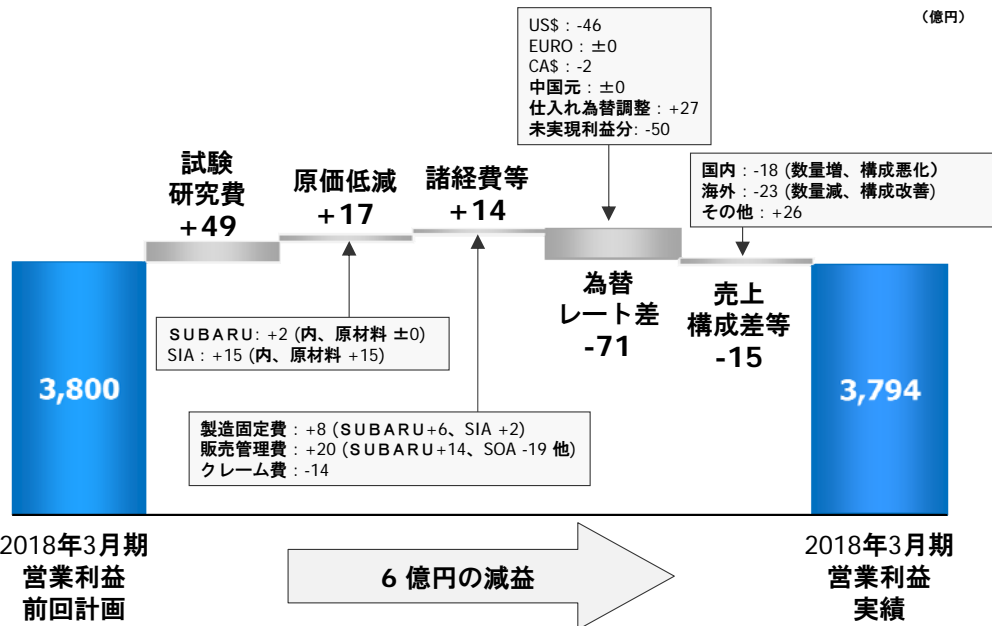
(億円)

	2018年3月期 前回計画	2018年3月期 実績	増減
売上高	34,100	34,052	-48
国内	6,703	6,686	-18
海外	27,397	27,367	-30
営業利益	3,800	3,794	-6
経常利益	3,750	3,799	+49
税前利益	2,880	2,973	+93
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,070	2,204	+134
単独為替レート	¥112/US\$	¥111/US\$	-¥0/US\$

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

26

通期実績 営業利益増減要因 前回計画 vs. 実績



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

第2四半期累計計画 連結完成車販売台数



(千台)

	2018年3月期 2Q累計 実績	2019年3月期 2Q累計 計画	増減
登録車	67.3	56.0	-11.3
軽自動車	15.1	13.0	-2.1
国内合計	82.3	68.9	-13.4
米国	333.2	313.0	-20.3
カナダ	30.7	31.6	+0.8
ロシア	3.7	7.0	+3.3
欧州	17.8	20.9	+3.1
豪州	27.7	26.9	-0.8
中国	13.8	12.4	-1.4
その他	22.0	25.7	+3.7
海外合計	448.9	437.4	-11.5
合計	531.3	506.3	-24.9

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

28

第2四半期累計計画 連結業績



(億円)

	2018年3月期 2Q累計 実績	2019年3月期 2Q累計 計画	増減
売上高	16,863	14,630	-2,233
国内	3,286	2,670	-616
海外	13,577	11,961	-1,616
営業利益	2,121	1,100	-1,021
経常利益	2,127	1,117	-1,010
税前利益	1,285	1,082	-202
親会社株主に帰属する 当期純利益	850	791	-59
単独為替レート	¥111/US\$	¥105/US\$	-¥6/US\$

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

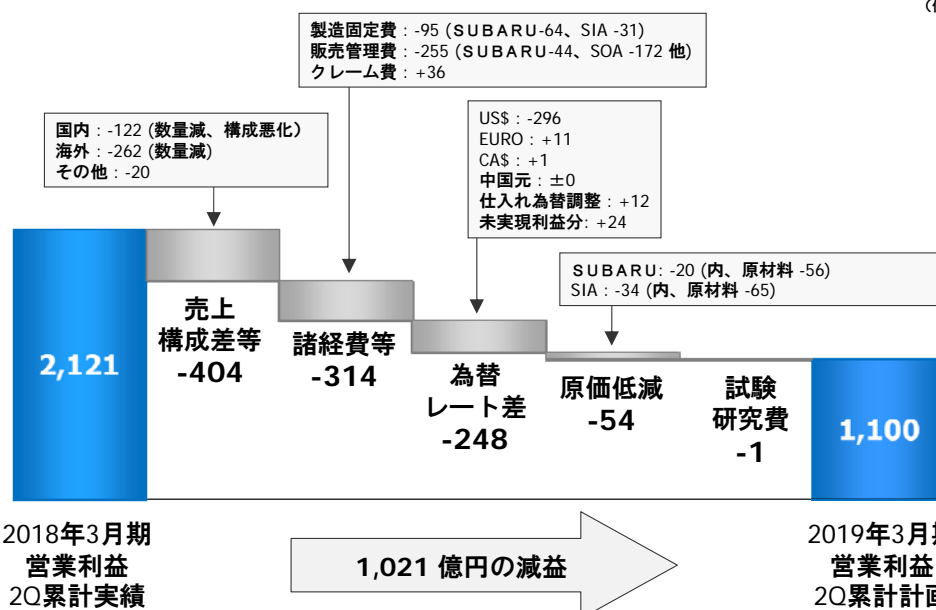
※ 2019年3月期から会計方針変更（売上高から販売奨励金を控除）

29

第2四半期累計計画 営業利益増減要因



(億円)



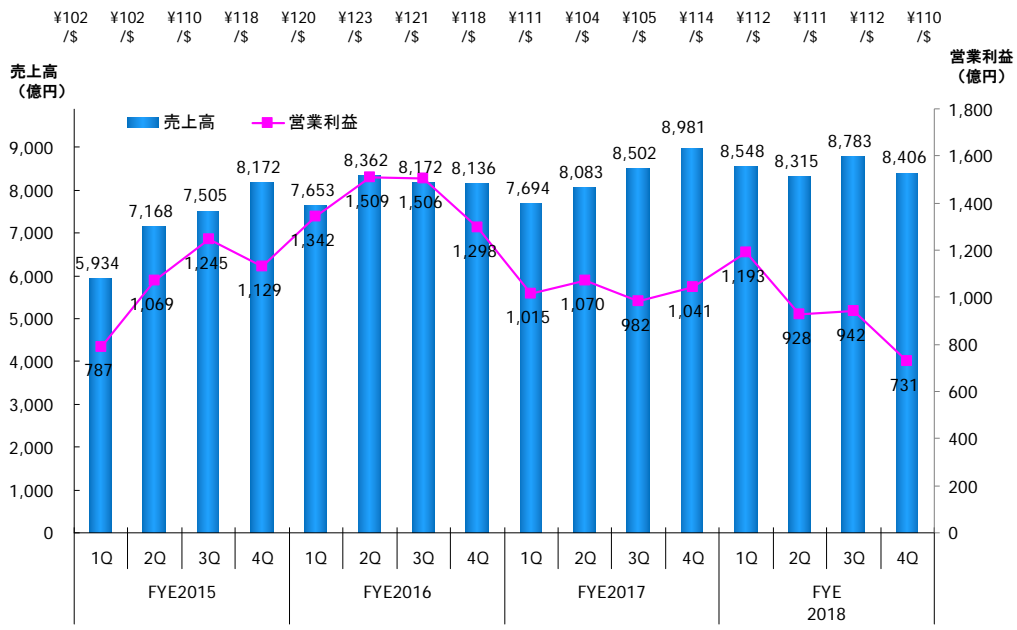
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

30

ご参考 (2)

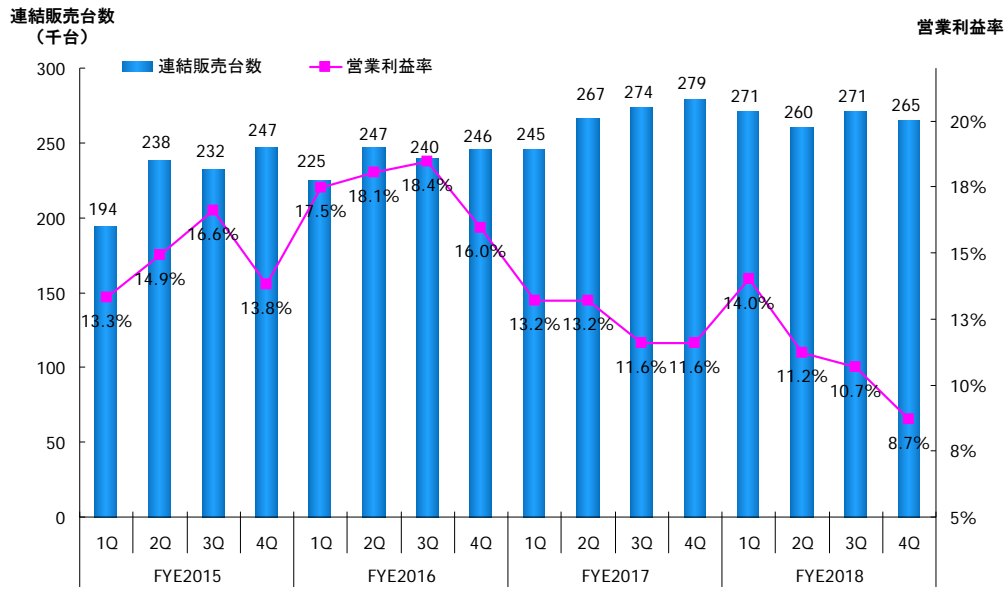
- 売上高 / 営業利益 推移
- 連結販売台数 / 営業利益率 推移
- 生産台数 / 小売台数 推移
- FCF / 自己資本比率 推移
- 有利子負債 / D/Eレシオ 推移
- 主な広報発表案件

売上高 / 営業利益 推移



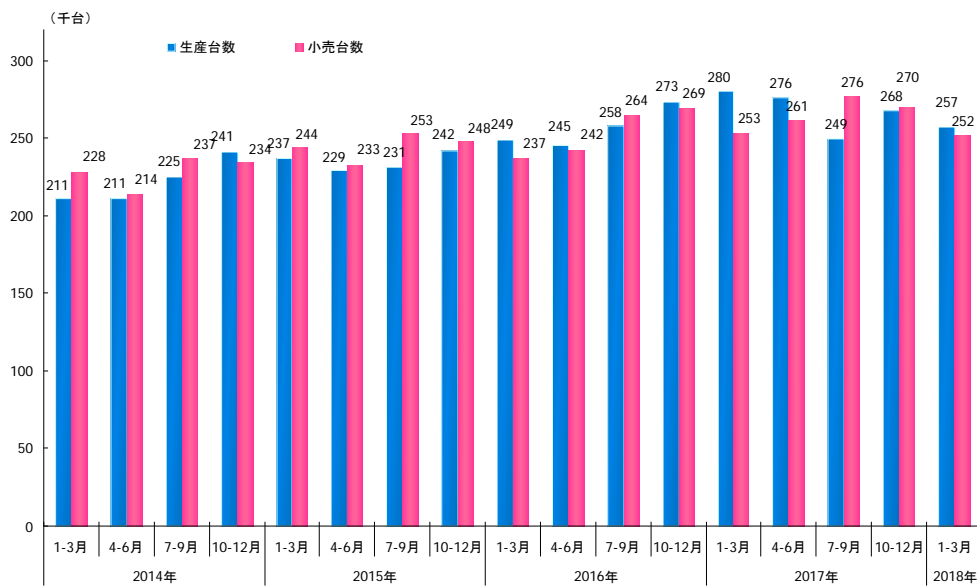
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

連結販売台数 / 営業利益率 推移



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

生産台数 / 小売台数 推移

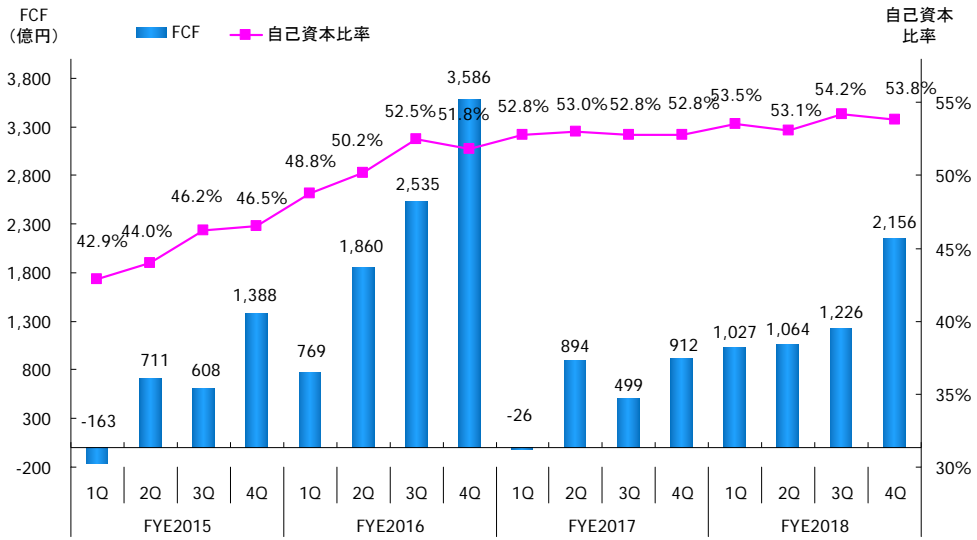


※ 生産台数にはトヨタ向け86/FR-Sの台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

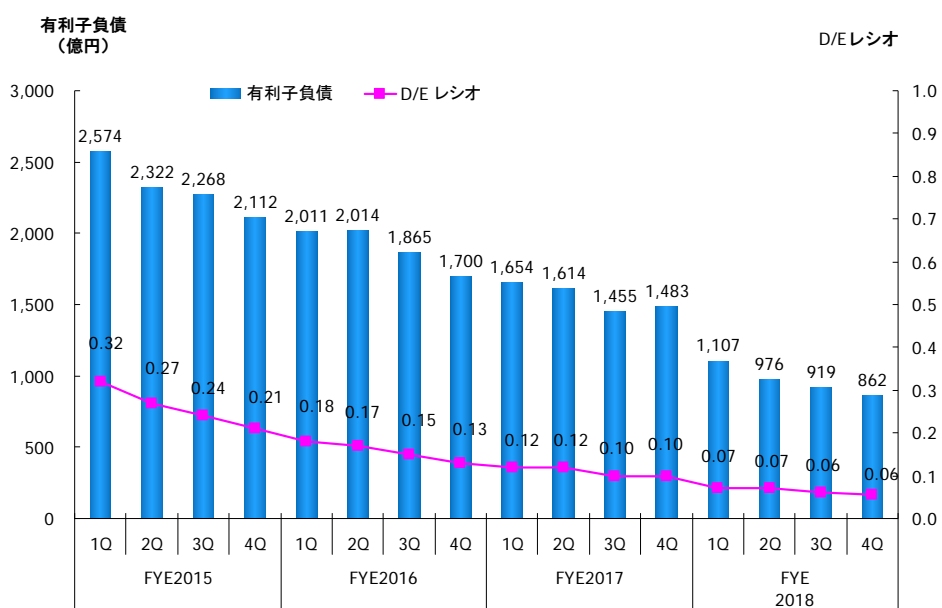
34

FCF / 自己資本比率 推移



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

有利子負債 / D/Eレシオ 推移



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

第4四半期 主な広報発表案件



(発表日)

商品

- ・東京オートサロン2018 出展概要 (1/10)
- ・SUBARU XV、インプレッサが2017年ユーロNCAPにおいてベスト・イン・クラス・セーフティ賞を受賞 (1/12)
- ・第10回 Nostalgic 2days出展概要 (2/2)
- ・2018年 SUBARU モータースポーツ活動計画について (2/9)
- ・第6回技術経営・イノベーション賞において、「運転支援システム アイサイト」が科学技術と経済の会会長賞を受賞 (2/13)
- ・インプレッサSPORT/G4 特別仕様車「1.6i-L EyeSight S-style」発表 (2/26)
- ・「SUBARU VIZIV TOURER CONCEPT」をジュネーブ国際モーターショーで世界初公開 (3/6)
- ・SUBARU 新型「フォレスター」を世界初公開 (3/29)
- ・「MOTOR SPORT JAPAN 2018 Festival in Odaiba」出展概要 (3/15)

経営・財務

- ・神戸製鋼所の不適切行為に伴うSUBARU製自動車への影響について（最終報） (2/2)
- ・社長人事について (3/2)
- ・組織改正ならびに役員の異動、担当業務の変更について（2018年3月31日付および2018年4月1日付） (3/2)
- ・役員の異動および担当業務の変更について（2018年6月付） (3/2)

航空宇宙カンパニー

- ・新多用途ヘリコプター用整備工場が完成 (1/18)
- ・ボーイング777X型機の初号機中央翼が完成 (2/9)

その他

- ・SUBARU 苗場でゲレンデタクシー5周年記念イベント (1/30)
- ・「Re 又造 MATAZO KAYAMA」展に特別協賛 (2/9)
- ・アニメ「弱虫ペダルGLORY LINE」とのコラボレーションTVCMを制作 (2/19)
- ・「SUBARUスタンプラリー」を3月3日から開始 (2/28)

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

37



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみで全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>



<https://www.subaru.co.jp/fr/>